

破骨細胞様巨細胞を伴う乳癌の臨床病理学的検討に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター臨床検査科では、「破骨細胞様巨細胞を伴う乳癌の臨床病理学的検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、破骨様巨細胞（osteoclast-like giant cells: OGC）を伴う乳癌の臨床病理学的特徴を明らかにするとともに、OGC の存在が予後および腫瘍微小環境に与える影響を検討することです。

この研究のため、2009年4月1日より2025年12月31日までに治療した方の診療録、病理組織標本の調査を行います。対象となるのは破骨細胞様巨細胞を伴う乳癌で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、病期、腫瘍径、リンパ節転移の有無、再発の有無など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告される場合があります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2026年5月

研究責任者

東京医療センター 臨床検査科

村田 有也

連絡先 03-3411-0111(代表)